

AOI Residence Quartet

AOI・レジデンス・クワルテット

30年にわたって極上の響きを紡いだAOIの至宝、
聴き逃せない最後のステージ
ベートーヴェンの弦楽四重奏曲を完結！



撮影：日置真光

出演

AOI・レジデンス・クワルテット

松原勝也 (ヴァイオリン)

小林美恵 (ヴァイオリン)

川本嘉子 (ヴィオラ)

河野文昭 (チェロ)

曲目

J.ハイドン：弦楽四重奏曲第81番 ト長調 op.77-1, Hob.Ⅲ-81

L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第11番《セリオーン》ヘ短調 op.95

第14番 嬰ハ短調 op.131

主催：静岡音楽館AOI 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団

特別協賛： せいしん
静岡信用金庫

協賛：A アイワホールディングス

studio
FORUM
HOUSE & SHOP DESIGN

 静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

2026

1/17 土

15:00 開演 (14:30 開場)

静岡音楽館AOIホール (8F)

指定席 ¥3,500 (静岡音楽館倶楽部会員¥3,150)

22歳以下
¥1,000

AOI・レジデンス・クワルテットは一年に一度の演奏会をするために、数日間のリハーサルを経て、このホールでの前日リハーサルをし、本番を終るとまたバラバラに活動をする団体です。それぞれが教育の現場で活躍する影響があるのか、ご自身の演奏を客観的に判断する能力を皆さんがご持ちで、リハーサルでは話し合いなどはほぼ無く、それぞれが自己訂正をして仕立てていく、といった具合。プロフェッショナル集団の妙を沢山体験、勉強させていただきました。

私が個人的に1番強い印象がある演奏会はバッハの作品をモーツァルトが弦楽四重奏用に編曲した作品をこのメンバーで弾いた時、ステージの背後に聳えるパイプオルガンから音が出ているのか？と勘違いするほどの4人が一体化したような音がして、新たに弦楽四重奏の醍醐味を知ってしまった！と興奮したことは今でもとても新鮮に蘇ります。その後も松原さんが編曲するバッハのフーガなどをアンコールで演奏する度に、あの体感を享受できて幸せな瞬間です。

初代ヴィオラ奏者白尾偕子さんの御逝去に伴い、メンバーとして迎え入れていただいてからベートーヴェン全曲を目指し活動してきましたが、この度ようやく完成いたします。

その喜びを皆様と分かち合いたいですし、私達も存分に味わい尽くすでしょう！

現芸術監督の退任に伴い、このクワルテットの響きをこのホールでお聞かせ出来るのは今回が最後となります。今から弾き終わった時の心境を想像するだけで楽しみです！

川本嘉子 (ヴィオラ奏者)



松原勝也 (ヴァイオリン) Katsuya MATSUBARA (Vn.)

1963年、東京生まれ。東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。クライスラー国際コンクール、ティボー・ヴァルガ国際コンクール等で上位入賞。新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターなどを歴任。無伴奏リサイタルシリーズ、ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏、武満徹室内楽作品全曲演奏、新曲初演、ジャズ・ミュージシャンとのコラボレーション、即興演奏など幅広い活動を展開している。2007年にはロンドン・ウィグモアホールでリサイタルを開催。2001年から2010年まで第一生命ホールで行われた若い演奏家のためのアドヴェント・セミナー、北九州市立響ホールフェスティバルなどをプロデュース。2012年、東京・春・音楽祭において、J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲の自身の編曲による弦楽五重奏版を初演し、好評を得た。また、長崎OMURA室内合奏団の創立当初から共演を重ねており、現在では深い信頼関係を築いている。第17回中島健蔵音楽賞、第55回文化庁芸術祭新人賞受賞。AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー、長崎OMURA室内合奏団アーティスティックアドバイザー、東京藝術大学音楽学部教授。



小林美恵 (ヴァイオリン) Mie KOBAYASHI (Vn.)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1990年、ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で日本を代表するヴァイオリニストとして活躍。これまでに、国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、ブラハ交響楽団のソリストとして、充実した演奏を高く評価された。また、静岡のAOI・レジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽の分野においても活動を広げている。2010年には、ロン＝ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。そのほか、フランス、イギリス、タイ、中国、韓国、ニュージーランド等でも公演を行い、洗練され、しかもダイナミックに奏でられる重厚な演奏は、多くの聴衆を魅了した。2015年にはデビュー25周年を迎え、2017年までに6回の記念リサイタルシリーズを好演。2018年からは、Hakuju Hallにてリサイタル「華麗なるヴァイオリンの伝説」(全6回)を行い好評を博した。2025年11月にはブラームスのソナタ全曲、2026年6月には無伴奏のタペをHakuju Hallで予定している。CDは、「プレイズ・クライスラー」、「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&バルティータ(全曲)」など多数録音している。使用楽器は昭和音楽大学所有の1734年製ストラディヴァリウス。現在、昭和音楽大学客員教授。愛知県立芸術大学でも後進の指導にあたっている。



川本嘉子 (ヴィオラ) Yoshiko KAWAMOTO (Va.)

1992年、ジュネーヴ国際音楽コンクール・ヴィオラ部門で最高位(1位なしの2位)、96年、村松賞、97年、第7回新日鐵音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2015年、東燃ゼネラル音楽賞・奨励賞の各賞を受賞。アメリカのタングルウッド音楽祭、マールボロ音楽祭、スイスのダボス音楽祭などのほか、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団、アルゲリッチ音楽祭等にも定期的に参加し、M.アルゲリッチやY.バシュメットなど世界一流のソリスト達と共演し絶賛を博している。ソリストとしては、これまでにG.ベルティーニ、J.フルネ、P.マークなどの著名な指揮者と共演。CDは「J.S.バッハ：ヴィオラ・ダ・ガバンバとチェロのためのソナタ」「シャコンヌ 無伴奏ヴィオラ作品集」等をリリース。89年、東京国際音楽コンクール室内楽部門優勝(イグレック・クワルテット)。99年より2002年まで東京都交響楽団首席奏者を務め、2017年より2021年までNHK交響楽団の首席客演奏者を務めた。京都アルティ弦楽四重奏団、AOI・レジデンス・クワルテットのメンバーとしても活躍。小澤征爾音楽塾、愛知室内オーケストラでは弦楽器アドバイザーとして、後進の育成にも積極的な力を注ぎ、日本を代表するヴィオラ奏者の1人として常に第一線で活躍している。



河野文昭 (チェロ) Fumiaki KONO (Vc.)

京都市立芸術大学卒業。1982年に文化庁在外派遣研究員としてロサンゼルスで、その後、ウィーン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、G.ライトー、A.ナヴァラの各氏に師事。84年、帰国後は独奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演を重ね、フィンランドの作曲家、J.コッコネンのチェロ協奏曲やイタリアのL.ペリオの無伴奏曲「セクエンツァⅣ」などを本邦初演する。また、室内楽演奏にも積極的に打ち込み、現在まで、アンサンブル of トウキョウ、AOI・レジデンス・クワルテット、東京クライスアンサンブルなどのメンバーとして、国内外に幅広く演奏活動を行ってきた。また、ゆふいん音楽祭(1993～2003年、音楽監督を務める)や別府アルゲリッチ音楽祭など各地の音楽祭に参加。2013年より東京都荒川区文化芸術振興財団主催の室内楽シリーズ「ARAKAWA クラシック BOX」の企画、演奏を年4回行い、2016年からは自らがプロデュースをする室内楽シリーズ「カンマムジーク@アルティ」を京都にて主宰するなど、地域での室内楽推進活動を精力的に行っている。第50回日本音楽コンクールチェロ部門第1位(81)、大阪府文化祭賞(92)、京都府文化賞功労賞(2004)等を受賞。平成29年度京都市文化功労者。2024年3月に東京藝術大学教授を退任、32年間にわたり後進の指導にあたった。現在、同大学名誉教授。

講演会「AOI・レジデンス・クワルテット」公演に寄せて

1月17日(土) 13:00～14:30
講師：平野昭(音楽学)
静岡音楽館AOI 講堂(7階) 無料(要申込)

静岡音楽館AOIは開館30周年を迎えました

静岡音楽館倶楽部
会員募集中!! 詳しくはこちらから→



静岡音楽館AOI公式SNS



静岡音楽館AOI・インフォメーション(7F)
Tel.054-251-2200(月・休)

- * 受付時間9:00～21:30(休館日を除く)。発売初日のみ電話予約は13:00より。
- * お電話予約の際の座席の指定はご遠慮ください。
- * 各種クレジットカード、バーコード決済、電子マネー(一部除外あり)でお支払いいただけます。

チケットぴあ(Pコード: 285-309) <https://t.pia.jp>

- * 全国のセブン・イレブン店頭マルチコピー機
- * チケットぴあでは、一般券のみお取り扱いします。

次のことを予めご了承の上、
チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- ※価格は税込です。
- ※都合により内容を変更する場合があります。
- ※お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更はお受けできません。
- ※演奏中のご入場、および他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- ※未就学児はご入場いただけません。
- ※託児サービスはございません。

開場時の諸注意

- ※8階ホールへのエレベーターの運行は、開場時間以降となります。
- ※開場時は1階エレベーター前でお待ちの方を優先してご案内いたします。
- ※地下からご来場のお客様も、一旦1階にて列にお並びください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左

静岡中央郵便局合同建物内



*当館専用の駐車場・駐車場はありません。

東京・名古屋から新幹線ひかり号で約1時間!



開館 9:00～21:30 月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

TEL 054-251-2200 静岡音楽館AOI 検索



一般発売 10月18日[土]より 会員先行発売 10月11日[土]より